

堺市道路標識等維持管理計画

堺市 土木監理課

2026 年 3 月

< 目 次 >

1. 計画の位置付け.....	-1-
2. 対象施設の現状.....	-1-
3. 計画期間	-2-
4. 維持管理の基本的な考え方	-3-
5. 対策の優先順位の考え方	-4-
6. 新技術の活用方針と費用縮減の取組.....	-4-
7. 対策内容と実施時期	-5-

1. 計画の位置付け

本市では、インフラ長寿命化基本計画に基づき、「堺市公共施設等総合管理計画」を2016年8月に策定（2022年3月改訂）した。

本計画は、堺市公共施設等総合管理計画に基づき、道路標識等の計画的な維持管理の方針を定めた「施設ごとの個別施設計画」であり、以下の通り位置付ける。

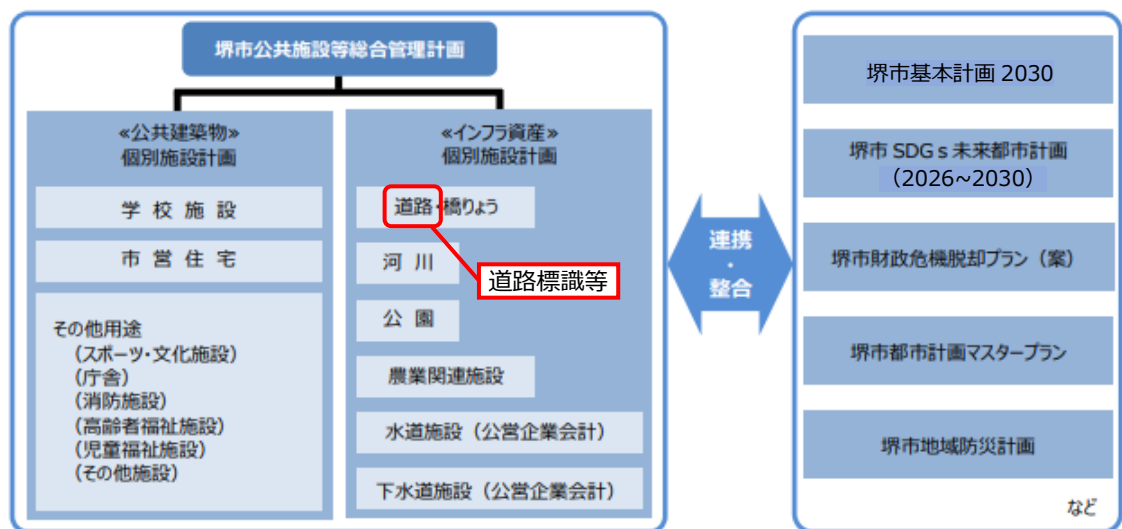


図-1 本計画の位置付け

2. 対象施設の現状

本計画の対象施設は、道路における大型標識、道路情報提供装置及び小型標識（まとめて、道路標識等という。）とする。ただし、道路情報提供装置における機器設備部分は対象外とする。

表-1 対象施設一覧

対象施設	数量	備考
大型標識（門型標識）	70 基	
大型標識（門型標識以外）	1,985 基	
小型標識	2,342 基	

大型標識 (門型標識)					
	門型標識	道路情報提供装置			
大型標識 (門型標識以外)					
	F 型標識	逆 L 型標識	テーパポール型標識	T 型標識	添架式標識
小型標識					
	単柱式標識	添架式標識			

図-2 対象施設の例（分類は本計画における標識分類）

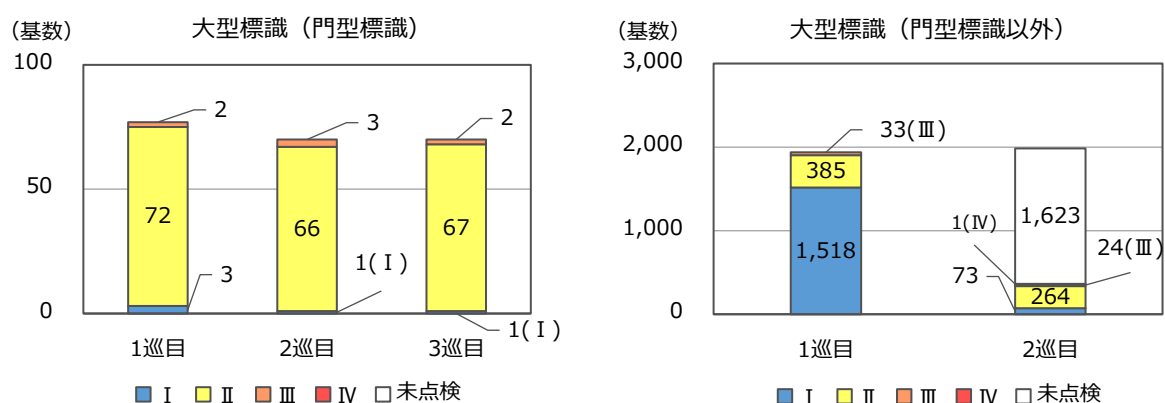


図-3 定期点検の結果

表-2 点検結果に基づく措置状況

施設	Ⅲ・Ⅳ判定基数	対策数	措置率
大型標識 (門型標識)	3 基 (2 巡目 R1・R2 点検)	3 基	100%
大型標識 (門型標識以外)	33 基 (1 巡目 H26～R1 点検)	33 基	100%

3. 計画期間

2026 年度から 2035 年度までの 10 年間を計画期間とする。ただし、計画期間内であっても、5 年ごとを目途に必要な応じて見直すものとする。

4. 維持管理の基本的な考え方

道路標識等の損傷が深刻な状態にまで進行した場合、第三者被害が発生する恐れがある。
また、特に大型標識（門型標識）の更新には多くの費用を要する。

そのため、定期的な点検等を実施して損傷の早期発見を図り、劣化が著しく進行してから修繕・更新する「事後保全」による管理の考え方だけでなく、損傷が深刻化する前に補修を行う「予防保全」による管理の考え方も取り入れることで、道路交通の安全確保や維持管理費用の平準化を図る。

表-3 点検サイクル等

	点検頻度	大型標識 (門型標識)	大型標識 (門型標識以外)	小型標識
法定点検※1	5年ごと	70基	-	-
法定外点検	10年ごと	-	1,985基	-
日常パトロール等	日常	70基	1,985基	2,342基

※1 道路法施行規則第4条の5の6の規定に基づき行う点検

		緊急性低い → 緊急性高い				補修検討段階	対象施設
		I 健全	II 予防保全 段階	III 早期処置 段階	IV 緊急措置 段階		
予防保全 管理	補修実施 時期		対策 ↔			損傷が比較的軽微な段階	大型標識（門型標識）
事後保全 管理				対策 ↔		安全上の問題が生じる前の段階	大型標識（門型標識以外） 小型標識
更新型 管理					対策	緊急に措置を講ずべき段階	-

図-4 管理目標（補修時期の目安）

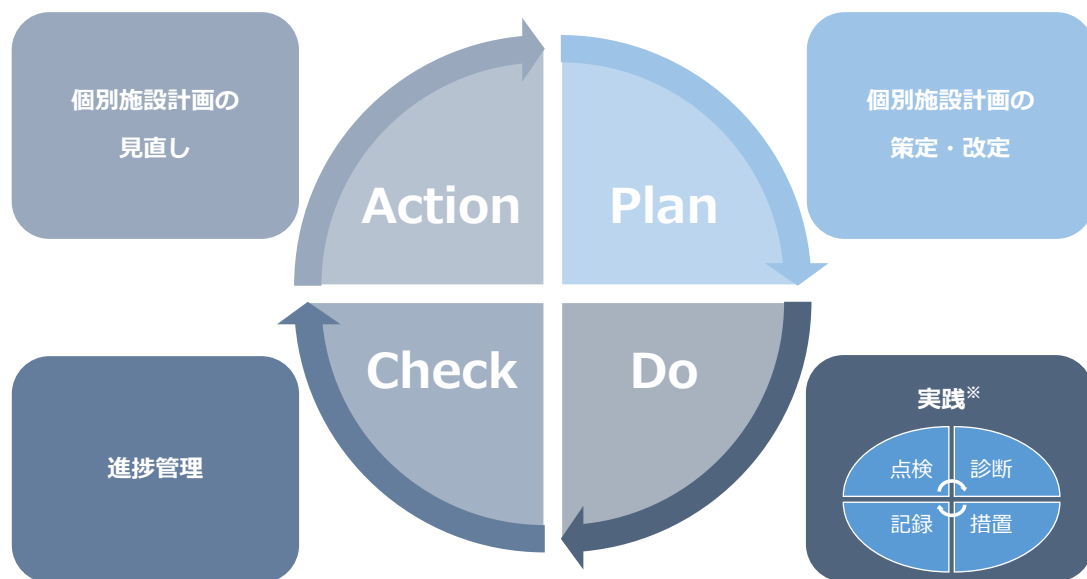


図-5 PDCA サイクル

※ 点検：通常点検、定期点検、異常時点検、詳細点検・調査を行う

診断：定期点検等の結果に基づき、Ⅰ～Ⅳの４段階で評価する。

措置：点検結果に基づき、環境条件、構造形式、損傷箇所、損傷の状態等を踏まえ、新技術の活用を検討し最適な工法を選定する。

記録：点検・措置内容を記録する。

5. 対策の優先順位の考え方

道路標識等の対策については、点検により把握した施設の健全性、標示内容の視認性、緊急交通路や交通量等の道路特性、設置からの経年数を踏まえ決定する。また、対策時期が重なる場合は、費用の平準化を図るため、道路標識等の損傷状況、路線の重要性、交通量等を考慮し、社会的影響が大きい箇所を優先する。

6. 新技術の活用方針と費用縮減の取組

6-1. 新技術の活用方針

新技術の活用により、コスト縮減や点検・対策の効率化が図られるか検討を行う。従来の点検手法や対策方法と比較・評価の上、適用性、安全性、活用効果等を精査し、有効である場合は新技術を採用する。

6-2. 費用縮減に関する具体的な方針（新技術の活用）

新技術を活用については、点検の効率化や対策の省力化等による費用・工期の縮減、効率性向上等において従来技術と比較を行い、総合的に判断する。また、新技術の活用により、2026年度から2035年度の10年間において、全体で約1%程度の費用縮減をめざす。

6-3. 費用縮減に関する具体的な方針（集約化・撤去）

道路標識等は、交通の円滑化や交通事故の防止のために設置されており、集約化・撤去には十分な検討が必要である。

大型標識については、独立的に設置されているものが多く、大型標識の設置状況を鑑みると、現時点では集約化・撤去を行うことは困難である。

小型標識については、路面標示や信号機等と補完的に設置されているものもあることから、設置状況を鑑み、集約化・撤去を行う。

集約化・撤去については、周辺の状況や施設の利用状況の変化を注視し、引き続き検討を行う。

7. 対策内容と実施時期

以上を踏まえ、対策内容と実施時期を別紙1、別紙2の通り定める。なお、今後の点検の結果や情勢の変化等に臨機に対応し、適宜見直すこととする。

附則

この計画は、堺市標識等維持管理計画（2017年3月策定）の内容を見直し、2026年4月1日から施行する。

■点検・対策予定

施設分類	年度										主な対策	概算対策費用 (千円)
	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035		
大型標識 (門型標識)				●	● □	□			●	● □	部材交換	15,000 (10 基/年程度)
大型標識 (門型標識以外)	● □	● □	● □	● □	● □	● □	● □	● □	● □	● □	部材交換 更新	400,000 (10 基/年程度)
小型標識	● □	● □	● □	● □	● □	● □	● □	● □	● □	● □	更新	20,000 (5 基/年程度)
	□ : 点検、● : 対策										合計	1,500,000

※本予定は、計画策定時点のものであり、点検結果、周囲の状況変化、予算措置状況等を踏まえ、適宜見直し実行する

■点検・対策予定（大型標識（門型標識））

管理番号	路線名	所管 事務所	支柱 形式	点検			対策											
				判定区分	直近 年度	次回 年度	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	主な対策	概算対策費用 (千円)
堺-3100-0009	(国)310 号	西部	門型式	Ⅱ	2024	2029				□					□			
東-0362-0010	(主)泉大津美原線(新)	北部	門型式	Ⅱ	2025	2030					□					□		
中-0362-0004	(主)泉大津美原線(新)	南部	門型式	Ⅱ	2025	2030					□					□		
中-0362-0020	(主)泉大津美原線(新)	南部	門型式	Ⅱ	2025	2030					□					□		
中-0362-0021	(主)泉大津美原線(新)	南部	門型式	Ⅱ	2025	2030					□					□		
中-0362-0033	(主)泉大津美原線(新)	南部	門型式	Ⅱ	2025	2030					□					□		
西-0362-0001	(主)泉大津美原線(新)	西部	門型式	Ⅱ	2025	2030					□					□		
西-0362-0015	(主)泉大津美原線(新)	西部	門型式	Ⅱ	2025	2030					□					□		
西-0362-0017	(主)泉大津美原線(新)	西部	門型式	Ⅱ	2025	2030					□					□		
中-0610-0003	(主)堺かつらぎ線	南部	門型式	Ⅱ	2025	2030					□					□		
中-0610-0005	(主)堺かつらぎ線	南部	門型式	Ⅱ	2025	2030					□					□		
中-0610-0007	(主)堺かつらぎ線	南部	門型式	Ⅱ	2025	2030					□					□		
中-0610-0008	(主)堺かつらぎ線	南部	門型式	Ⅱ	2025	2030					□					□		
南-0610-0008	(主)堺かつらぎ線	南部	門型式	Ⅱ	2025	2030					□					□		
堺-0300-0006	(主)大阪和泉泉南線	西部	門型式	Ⅱ	2024	2029				□					□			
堺-0300-0008	(主)大阪和泉泉南線	西部	門型式	Ⅱ	2024	2029				□					□			
堺-0300-0010	(主)大阪和泉泉南線	西部	門型式	Ⅱ	2024	2029				□					□			
堺-0300-0011	(主)大阪和泉泉南線	西部	門型式	Ⅱ	2024	2029				□					□			
堺-0300-0023	(主)大阪和泉泉南線	西部	門型式	Ⅱ	2024	2029				□					□			
堺-0300-0025	(主)大阪和泉泉南線	西部	門型式	Ⅱ	2024	2029				□					□			
堺-0300-0038	(主)大阪和泉泉南線	西部	門型式	Ⅱ	2024	2029				□					□			
堺-0300-0040	(主)大阪和泉泉南線	西部	門型式	Ⅱ	2024	2029				□					□			
堺-0120-0004	(主)堺大和高田線	西部	門型式	Ⅱ	2025	2030					□					□		
堺-0340-0012	(主)堺狭山線	西部	門型式	Ⅲ	2024	2029				□					□			
堺-0340-0014	(主)堺狭山線	西部	門型式	Ⅱ	2024	2029				□	●				□		部材交換	500
堺-0340-0015	(主)堺狭山線	西部	門型式	Ⅱ	2024	2029				□	●				□		部材交換	500
西-0340-0004	(主)堺狭山線	西部	門型式	Ⅱ	2024	2029				□	●				□		部材交換	500
西-0340-0006	(主)堺狭山線	西部	門型式	Ⅱ	2024	2029				□					□			
西-0340-0012	(主)堺狭山線	西部	門型式	Ⅲ	2024	2029				□	●				□		部材交換	500
西-0340-0017	(主)堺狭山線	西部	門型式	Ⅱ	2024	2029				□	●				□		部材交換	500
西-0340-0024	(主)堺狭山線	西部	門型式	Ⅱ	2024	2029				□	●				□		部材交換	500
西-0340-0025	(主)堺狭山線	西部	門型式	Ⅱ	2024	2029				□	●				□		部材交換	500
中-0340-0005	(主)堺狭山線	南部	門型式	Ⅱ	2024	2029				□	●				□		部材交換	500
中-0340-0013	(主)堺狭山線	南部	門型式	Ⅱ	2024	2029				□	●				□		部材交換	500
中-0340-0016	(主)堺狭山線	南部	門型式	Ⅱ	2024	2029				□	●				□		部材交換	500
中-0340-0021	(主)堺狭山線	南部	門型式	Ⅱ	2024	2029				□	●				□		部材交換	500
南-0340-0003	(主)堺狭山線	南部	門型式	Ⅱ	2024	2029				□					□	●	部材交換	500
北-0020-0011	(主)大阪中央環状線	北部	門型式	Ⅱ	2024	2029				□					□	●	部材交換	500

管理番号	路線名	所管 事務所	支柱 形式	点検			対策											
				判定区分	直近 年度	次回 年度	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	主な対策	概算対策費用 (千円)
北-0020-0018	(主)大阪中央環状線	北部	門型式	Ⅱ	2024	2029				□					□	●	部材交換	500
北-0020-0033	(主)大阪中央環状線	北部	門型式	Ⅱ	2024	2029				□					□	●	部材交換	500
北-0020-0035	(主)大阪中央環状線	北部	門型式	Ⅱ	2024	2029				□					□	●	部材交換	500
北-0020-0037	(主)大阪中央環状線	北部	門型式	Ⅱ	2024	2029				□					□	●	部材交換	500
美原-0020-0001	(主)大阪中央環状線	北部	門型式	Ⅱ	2024	2029				□					□	●	部材交換	500
北-0282-0019	(主)大阪高石線(新)	北部	門型式	Ⅱ	2025	2030					□					□		
北-0282-0022	(主)大阪高石線(新)	北部	門型式	Ⅱ	2025	2030					□					□		
北-0282-0025	(主)大阪高石線(新)	北部	門型式	Ⅱ	2025	2030					□					□		
北-0282-0027	(主)大阪高石線(新)	北部	門型式	Ⅱ	2025	2030					□					□		
西-0282-0016	(主)大阪高石線(新)	西部	門型式	Ⅱ	2025	2030					□					□		
堺-0291-0009	(主)大阪臨海線(現)	西部	門型式	Ⅱ	2025	2030					□	●				□	部材交換	500
堺-0291-0017	(主)大阪臨海線(現)	西部	門型式	Ⅱ	2025	2030					□	●				□	部材交換	500
西-0291-0003	(主)大阪臨海線(現)	西部	門型式	Ⅱ	2025	2030					□	●				□	部材交換	500
西-0291-0005	(主)大阪臨海線(現)	西部	門型式	Ⅱ	2025	2030					□	●				□	部材交換	500
西-0291-0007	(主)大阪臨海線(現)	西部	門型式	Ⅱ	2025	2030					□	●				□	部材交換	500
西-0291-0017	(主)大阪臨海線(現)	西部	門型式	Ⅱ	2025	2030					□	●				□	部材交換	500
南-0381-0018	(主)富田林泉大津線(現)	南部	門型式	Ⅱ	2025	2030					□					□		
西-0291-0021	(主)大阪臨海線(現)	西部	門型式	Ⅱ	2025	2030					□	●				□	部材交換	500
堺-1950-0004	(一)堺港線	西部	門型式	Ⅱ	2025	2030					□					□		
美原-0322-0001	(主)美原太子線(新)	北部	門型式	Ⅱ	2025	2030					□					□		
西 215	(市)臨海 1 号線	西部	門型式	I	2025	2030					□					□		
情報板 1	(主)大阪中央環状線	北部	片持式	Ⅱ	2025	2030					□					□		
情報板 2	(主)大阪中央環状線	北部	片持式	Ⅱ	2025	2030					□					□		
情報板 3	(主)大阪高石線(新)	西部	片持式	Ⅱ	2025	2030					□					□		
情報板 4	(主)大阪高石線(新)	西部	片持式	Ⅱ	2025	2030					□					□		
情報板 5	(主)大阪臨海線(現)	西部	片持式	Ⅱ	2025	2030					□	●				□	部材交換	500
情報板 6	(主)大阪臨海線(現)	西部	門型式	Ⅱ	2025	2030					□	●				□	部材交換	500
情報板 7	(主)大阪臨海線(現)	西部	片持式	Ⅱ	2025	2030					□	●				□	部材交換	500
情報板 8	(主)大阪臨海線(現)	西部	門型式	Ⅱ	2025	2030					□	●				□	部材交換	500
情報板 9	(主)大阪臨海線(現)	西部	片持式	Ⅱ	2025	2030					□	●				□	部材交換	500
情報板 10	(主)富田林泉大津線(現)	南部	門型式	Ⅱ	2025	2030					□					□		
情報板 11	(主)富田林泉大津線(現)	南部	門型式	Ⅱ	2025	2030					□					□		
							□：点検、●：対策										合計	15,000

※本予定は、計画策定時点のものであり、点検結果、周囲の状況変化、予算措置状況等を踏まえ、適宜見直し実行する